

## 今年の秋サケ来遊見通しについて

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構  
さけます・内水面水産試験場 さけます資源部

### 昨年（平成 29 年）の来遊状況

平成 29 年（2017 年）の全道への秋サケ来遊数（沿岸での漁獲数と河川での捕獲数の合計）は 1,737 万尾と 2,000 万尾を割り込み、平成以降で最も少ない来遊数に留まりました（前年対比 67.3%，図 1）。年齢別にみると、4 年魚（平成 25 年生まれ）は 814 万尾（前年比 76.1%），5 年魚（平成 24 年生まれ）は 516 万尾（前年比 37.8%）といずれも平成以降では最も少ない来遊数に留まりました。一方、3 年魚（平成 26 年生まれ）は 317 万尾と過去 30 ヶ年平均の 264 万尾を上回る来遊となりました。これらのことから昨年の不漁は主群である 4 年魚の来遊不振が要因と考えられました。

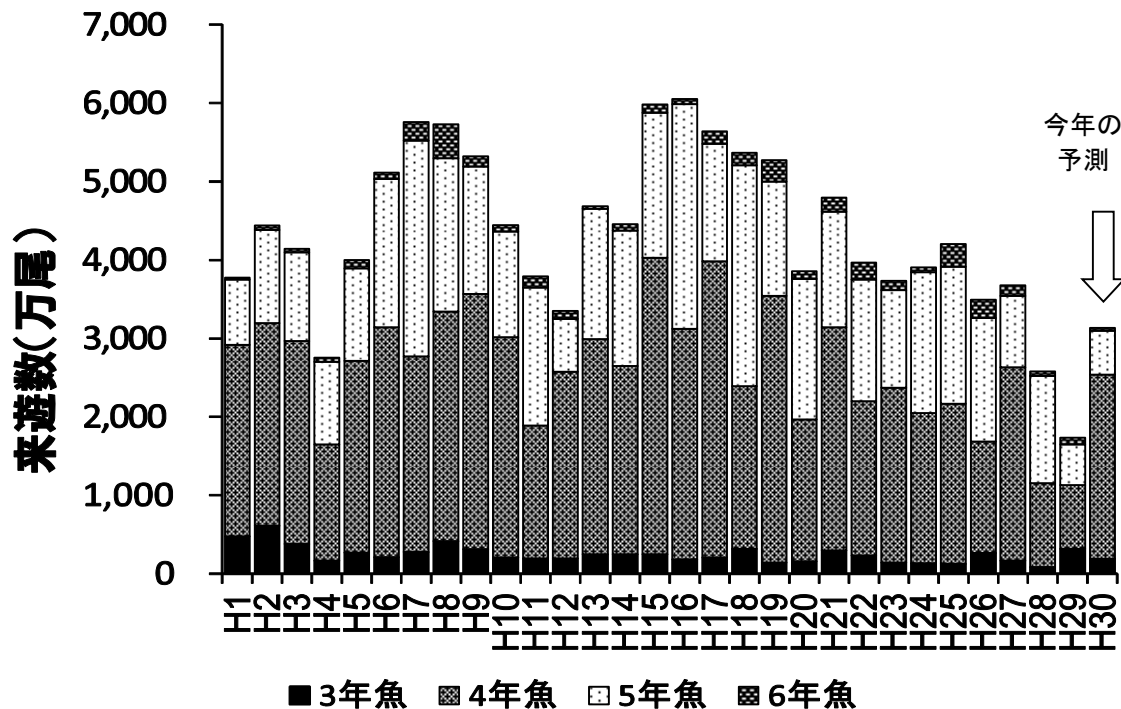


図 1 最近の北海道へのサケの（年齢別）来遊数の推移

### 今年の来遊の見通し

今年（平成 30 年）の全道への来遊数は 3,136 万 7 千尾と予測され、3,000 万尾を若干上回る予測となっています（図 1）。昨年の 4 年魚は平成以降で最も少ない来遊数であったことから、今年の 5 年魚は 566 万尾と平成以降では 2 番目に少ない来遊数に留まる予測となっています。一方、昨年の 3 年魚は 1 地区を除いて前年を大きく上回ったことから、今年の 4 年魚は 2,344 万尾と過去 20 ヶ年平均（2,328 万尾）と同程度の来遊見込みとなっています。

地区別の来遊予測値については、北海道立総合研究機構さけます・内水面水産試験場のホームページをご覧ください（<http://www.fishexp.hro.or.jp/cont/hatch/index.html>）。